



●ガバナー 沼田 廣 ●会長 吉田 賢治 ●幹事 伊藤 斉 ●コミュニケーション委員長 小原 隆平

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

## 第 2116 回 例会 記録

《ガバナー公式訪問例会》

2019 年 8 月 22 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1548



石橋 SAA

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか 清川職業奉仕副委員長



## 《ゲスト》

RID2830 ガバナー

沼田 廣様 (青森 RC)

南グループガバナー補佐

上野実穂様 (八戸中央 RC)

ガバナー事務所事務局長

長谷川利夫様 (青森 RC)

## 《ビジター》

永倉 浩様 (八戸 RC)

橋本 薫様 (八戸東 RC)

## 《会長要件》 吉田会長



例会に先立ちまして会長・幹事面談、クラブ協議会とガバナーよりお話を頂きました。

当クラブがここ数年会員の減少傾向にある中で、どうやって仲間を増やすかというのが自分に課された課題かなと思いを会長をやらせていただいております。私が入会した 2015-16 年度が 44 名、16-17 年度も 44 名、17-18 年度 38 名、昨年度が 36 名とクラブ会員が減少傾向にあります。今年度は 7 月に新しいメンバーも加わって 37 名でスタートしたところです。引き続き何人かの方に声かけをしておりますので、さらに何名か増える予定です。そういった新しい仲間とつながりを持ち、そしてまた、その新しい仲間のつながりで新たな出会いがあればクラブとしても勢いがつくのではと思っています。新しいメンバーはもちろんです。皆さんも含めてクラブの和を大切に、皆さんと一緒に新しい仲間を増やしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

## 《バッジ伝達》



沼田ガバナーより  
大平会員へロータリーバッジ



MP F7 回目  
石橋会員

## 《出席報告》 本多副委員長



正会員数 37 名。本日の出席は免除会員 3 名を含む 30 名。出席率は 86% です。前々回の例会は、ガバナー公式訪問準備例会で出席率 89% でした。

7 月入会の 大平会員へ沼田ガバナーよりロータリーバッジの伝達をしていただきました。

## 《幹事報告》 伊藤幹事



・皆様のレターボックスに沼田ガバナーが「れちおん青森」という雑誌に寄稿した「ロータリークラブと SDGs について」のコピーが入っておりますので後でお読みください。

・例会変更のお知らせ、八戸東 RC 8 月 2 日 (金) 日時場所変更です。  
・ハイライト米山が届いています。  
・福島の佐原バスターガバナーより横断幕のお礼としてお酒を頂戴いたしました、事務局の所にあります。後で皆さんといただきたいと思っております。

## 《ニコニコボックス》 慶徳会員

沼田ガバナー：皆様にお会いするのを楽しみにして参りました。この一年よろしく願い致します。

上野ガバナー補佐：8/3 IM 大変お世話になりました。本日公式訪問例会よろしく願いいたします。

吉田会長：沼田ガバナー、上野ガバナー補佐、長谷川様、ようこそいらっしゃいました。一年後にはよい報告ができるように頑張ります。

伊藤幹事：沼田ガバナー、公式訪問ありがとうございます。

橋本精二会員：沼田ガバナーようこそ、本日はよろしく願いいたします。

黒田会員：RI 会長ご夫妻を迎えての IM へのご協力ありがとうございました。沼田ガバナーごころさまです。

石橋会員：沼田ガバナーようこそお出で下さいまし



た。本日はよろしくお願ひ致します。

**大澤会員**：沼田ガバナー、ようこそお出で下さいました。

**小原会員**：沼田ガバナーようこそ、本日はよろしくお願ひします。

**長嶺会員**：沼田ガバナーようこそ、歓迎いたします。

**熊谷会員**：沼田ガバナーようこそ。RI 会長お出での時の写真皆様から頂きました、ありがとうございました。

**榊会員**：ガバナーようこそ。

**吉田立盛会員**：沼田ガバナーようこそ！！

**西村会員**：沼田ガバナー八戸南 RC へようこそ！

**大平会員**：ガバナーようこそ。

**本人誕生日**：野沢会員

### 《IM お礼》黒田会員



今回の IM では中央ロータリークラブも一緒に皆さんご家族ともどもご協力くださりありがとうございました。私は 4 日の日に会長へ一言ご挨拶してアメリカの本部へ行くつもりでしたけれども、4 日の朝早く皆さんが朝市へ出かけたということでびっくりしまして、会長へ挨拶もできずに RI 会長ノミニーの指名委員会へ出席してきました。本部の 12 階で行いましたが、12 階には会長室とか会長エレクト室、財団室長室などがありますけれどもそこには会長が本部を留守にする時に留守を担当する会長のエイドの方もいらっしゃいます。元理事の方ですが、そこへ行ったら早速「八戸での IM は良かったと会長からメールをもらった」と言われて驚かされました。振り返ってみますと会長が皆さんの質問に対してお答えしてくれ、10 のクラブに対しても、一部だけコメントを頂ければいいですよと言ったのですが全クラブにコメントを出してくれて、本当に心を込めて接してくれたなあと感謝しています。エイドの方からも感謝されましたが、日本に疲れて帰って来ましたら三木理事からも「非常にお世話になりました、大変すばらしい IM でした。八戸の地元のロータリアンの方によろしくお伝えください」というメールを頂きました。韓国の李 東均さんからも感謝の言葉をもらい、各地区のガバナーの方からも色々返事をもらいました。その中には今日沼田ガバナーからもありましたが地区大会に RI 会長代理として来てくれないかとの話までありびっくりしまして、ちょっと待つてほしいと言ってあります。

皆さんには奥様はじめ一緒にご協力して下さい、会長の「世界のロータリークラブを見たい、特にクラブレベルの真の姿を見たい、皆さんがどう感じているか見たい」という目的が達成されて非常に喜んでおられましたのでお礼申し上げます。ありがとうございました。

### 《ご挨拶》南グループ AG 上野実穂様（八戸中央 RC）

先程黒田先生からご丁寧にご説明がありました。確かに 8 月 3 日、1 から 10 まで黒田先生そして南クラブの皆様のご指導の下無事に IM を終了することができました。本当にありがとうございました。マロー

ニー会長は懇親会の席でお疲れになり先にグランドホテルに戻られました。そのあとの事は南クラブの皆さんは韓国の方のご接待があったので、2830 地区沼田ガバナー主催の二次会の事を少しお話しいたします。マローニー会長はお疲れになられてお部屋へ戻られたのですが、二次会をやっているのなら是非私たちも参加すると降りてきて下さいまして、特に沼田ガバナーの同期 12 名、そして奥様もいらっしゃいましたので、本当に 7 か月ぶりの再会を喜んでおられました。グランドホテル 10 階のバーでやったのですが村井達バスターガバナー曰く「洒落た田舎」の夜景を見ながらやったのですが佐賀のバスターガバナーなんかは、僕は一般のお客さんかなと思うくらい溶け込んでいらっしゃいました。先程三木理事のお話がありましたが、三木理事は色々準備の段階からメールをよこしても返信をくれないので、ホテルの確認とかお出迎いの件もありましたので、携帯が載っていたので大変失礼かと思いましたが電話しました。お迎えに上がりましたら長嶺バスターガバナーと私がずーと待っているにも関わらず電車が行って出てきませんで、長嶺さんは行っちゃったんじゃないの、しょうがないよと言っていました。見るとマローニー会長が到着するまで他の方と一緒に中で涼んでおられて、お出迎えができてよかったとホッとしました。三木理事に私申し上げました。「何度メールを送っても返信がないのでお電話差し上げました」というようなことを申し上げたら、「なんで青森の方が関西弁なんだ」と、三木理事は姫路で僕は淡路で目と鼻の先なんですけれど、「なんで青森の人が関西弁で、しかも会ったら顔が関西やないか」と、それで非常に仲良くなりまして、又お会いしようということで、中には同期ガバナーで「次の地区大会へ行くのでまたよろしくお願ひします」というようなご返事を頂いたりしてあります。本当に南クラブの皆さんには最初から最後までご指導いただきありがとうございました。



最後に、「ロータリーの友」野崎恭子編集長が来ておられまして、印象に残ったこととして、吉田会長の浴衣を着ての締めのご挨拶が「お祭りのスタイルでやられたんでしょう、マローニー会長がいなくて残念でしたね」と言っておられました。「ロータリーの友」は 9 月号で「マローニー会長滞在記」という特集を組んでおられるようです、是非皆さん楽しみにしてください。今日はありがとうございました。

### 《ご挨拶》長谷川利夫事務局長（青森 RC）



青森ロータリークラブ所属 2830 地区ガバナー事務所の事務局長を仰せつかっている長谷川と申します。昨年度より事務局を開設しそのまま従事しておりますが、まだまだ不慣れでございます。いろんな案内等も届かなかつたり、ミスとかご指摘を受けておりました。これからずっと事務局は青森の方に固定化するというので決まっておりますので、今後ずっとそちらで皆さんのご迷惑になるかと思いますが、是非ご指導いただきますようお願い致します。今日はありがとうございました。



## 《お礼》大澤会員



この度は光星高校甲子園出場に対しまして多大なご支援を賜り心からお礼を申し上げます。あわよくばと思っていたのですが残念ながら準々決勝で敗れてしまいました。しかし選手たちはよくやったと誉めてやりたい気持ちです。これからも光星高校の挑戦は続くと思いますが、又、甲子園出場の際にはご支援賜りますようよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。

## 《ガバナー講話》2830 地区ガバナー沼田 廣様(青森 RC)



ガバナーの役割は色々あるわけですが、先ず真っ先にマーク・マローニー R I 会長のお考えを皆さんにきっちり伝えることと、それに基づいた地区のスローガンや目標をお伝えして、皆さんのロータリーにおける活動に活かしていただくことが私の使命の一つでございます。

最初に私が 1 月にアメリカのサンディエゴに行きまして国際協議会で色々教えて頂いたことを皆さんにお伝えしたいと思います。(スライドを見ながら) これは会場になりましたマンチェスターグランドハイアットサンディエゴという大変大きなホテルでございます。約 2,000 人収容できるということですがここに 1,300 人ほど集まりまして国際協議会をやつてまいりました。

マーク・ダニエル・マローニー会長の今年のテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」のイメージはこのマークに表れていますが、中央の青いものは地球を表している、宇宙から見ると地球は青いわけですし、周囲は人が 4 人スカイダイビングしているように描かれておりますけれども、色も違いますし、東西南北に配置されおりこの人たちがロータリーを通じて世界をつないでいるということでもあります。

マーク・ダニエル・マローニー会長につきましてはこの間の IM で詳しく紹介されておりましたのでここでは省略致します。ここから動画になりますので是非見ておいてください。「ロータリーは世界をつなぐ」ということにつきまして会長自らのお言葉で大変分かりやすくお説きになったと思います。

動画の中で国連の持続可能な開発目標につきまして言及されておまして、ロータリーは国連と共に今までもポリオの根絶ということで一緒にやってきましたけれどもさらに国連の掲げる持続可能な開発目標、これは 17 あるわけですが実はロータリーはすでに 6 つの重点分野を定めましてコミットしていますけれども、これらはすべて持続可能な開発目標の中に含まれるものです、これからますますそういう意味で国連と一緒にプロジェクト

を進めていくことになると思います。そういう意味で私が地域社会研究所からたまたま頼まれました巻頭言ですが、ちょうど 8 月号が出たばかりでしたので皆さんにコピーを回していただきました。あとで参考にさせていただきたいと思います。おそらく色々なロータリークラブで国連の唱えている持続可能な開発目標につきまして、ロータリーとしてどういうことができるのか掘り下げてプロジェクトを組んでいくところが多くなっていくと思います。



国際ロータリーの戦略計画ですが 2019 年から 5 か年間にわたって新しい戦略計画に基づいてロータリーは活動を進めております。長・中・短と目標が分かれておりますが長期目標ですけれども、これはビジョン声明に代表されるということでもあります。先程動画の中でもマローニー会長がおっしゃっておられました。「私たちロータリアンは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界をめざしています。」これはずっと変わらないロータリーの目標であります。私もこの地区のスローガンを「良い変化を生む」というところ「人々が手を取り合って行動する」というところから「共に変化し行動しよう」というスローガンを作りました。

次の中期目標ですが実際の戦略計画立案の際の優先事項として掲げている物です。先ず第 1 は「より大きなインパクトをもたらす」2 番目は「参加者の基盤を広げる」3 番目は「参加者の積極的な関わりを促す」4 番目は「適応力を高める」それぞれ 3 項目ないし 4 項目ございますけれども時間の関係でここは割愛させていただきますが、詳しくはマイロータリーで見ていただきたいと思います。

年次目標ですが今年度 2019-20 年度だけの目標ですがマーク・マローニー会長の目標であります。これは優先事項 1 と 2 と二つに分けられ、それぞれ「人々が手を取り合うのを促す」「行動する」というテーマがつけられております。

優先事項 1 には 5 つございます。1 つ目は「クラブや地区内のリーダーの積極的参加を促すプロセスを強化する」2 つ目は「既存会員を維持しつつ、さらに入会を促進することで、クラブ会員の増加を図る」先ほどとんでもない記録が出た、それは退会者が大変多かったということをおっしゃっていましたが、それぞれのクラブにおきましても退会者を出さないような努力をしていただきたい、さらにまた、新しい、多様性に富んだ方々を入会させて頂きたいと思っております。3 番目は「新しいクラブを結成する」これは今現在進めているところでございます。4 番目は「女性会員や 40 歳未満の会員の入会、またローターアクターのロータリークラブへの入会を促し、会員増を図る」いま、八戸南ロータリークラブの場合は女性会員がたくさん入っておられますけれどもさらにまた増やしていただきたい、そして若い会員も入会させるようお願いしたいということです。また、ローターアクターも同時にロータリークラブに入れるようになりました。現に 2830 地区でも五所川原ローターアクターの方が五所川原ロータリーク

ラブの会員として活躍しております。5 番目「インターアクト、ローターアクト、ロータリークラブ会員間およびほかのロータリー活動の参加者間の積極的参加・協力を強化する」こちらは八戸高校のインターアクトを指導され一緒に活動されておるわけですが、すけれども引き続きお願い致します。

優先事項 2 は 4 つございます。6 つ目は「ポリオ撲滅活動においてロータリーとロータリアンが果たしている役割を広く伝える」我々はポリオあと少しということでもずっとやっているわけでございますけれども、世間一般にはそれほど認知されていないということもございまして、いろんな機会をとらえてロータリーの活動、ポリオ撲滅を通しましてロータリーの活動を広く伝えていただきたいと思っております。7 番目の「地区財団活動資金 (DDF) を十分に活用することで、地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センターの資金とし、地域社会および海外でのプロジェクトを増やす」ご存知のように我々が年次基金として寄付した物は 3 年後に 4 分の 1 返ってきて地区で自由に使えるわけでございます。お陰様で長嶺パストガバナーの年度の時の年次基金が、今私の年度に使えるわけで、非常に長嶺パストガバナー頑張ってくださいまして、今井年度には申し訳ないのですけれども沢山私の年度に返ってきております。これは本当に皆さんの活動資金として配布していきたいと思っております。8 番目の「年次基金とポリオプラスへの寄付を増やしつつ、2025 年までに恒久基金を 20 億 2,500 万ドルまで成長させる」年次基金へは 1 人 150 ドル、ポリオプラスへは 30 ドルということをお願いしております。また、恒久基金はこれ自体には手を付けるわけではなく運用益を年次基金の方に回して色々奉仕プロジェクトの方に使っていくわけでございますけれども、その母体を増やしていきたいということで皆様をお願いをしているところでございます。1,000 ドル以上ですとベネファクターという称号をいただきますし、八戸南ロータリークラブには何人もそういう方がいらっしゃいますので、是非、まだの方は続いております。9 番目「ロータリーへの認識を高め、『世界を変える行動人』キャンペーンを促進する」『世界を変える行動人』というのは実例ですよ、こういう奉仕活動をしているんだということ全部掲げているんですけれども、大いに参考にさせていただきたいです。又、皆さんの活動そのものもここへアップすることができますので、是非ご紹介いただければと思っております。

そしてロータリー賞、これらの事を実践して受賞していただきたい、私、大変うれしいのは吉田会長が今年の方針にロータリー賞受賞を目指すとはっきりと掲げていただいております。実をいうと今まで 20 カ所、クラブを回ったのですけれども、はっきりと掲げていらっしゃるのには八戸南クラブだけなんですよ、ほんとうにうれしいです、是非頑張ってください。「笑顔でチャレンジ」というテーマを掲げておられる八戸南ロータリークラブですから、必ずロータリー賞を受賞できると思っております。

最後になりましたけれども、2830 地区 2019-20 年度のスローガン「共に変化し行動しよう」ということ

です。確かに先例主義、今までやってきたことをそのまま継続することも意義があるのですけれども、ちょっと目先を変えて違ったことも取り入れてやっていただきたいなという願いも込めまして「共に変化し行動しよう」というスローガンを作りました。

地区目標は 10 ございます、この多くはマローニー会長の掲げている目標を地区におろしてきたものが多いのですけれども、できるだけ数値化したものを目標に掲げております。目標というのはやはり数値で出さないと目標になりません、ただ頑張ろう、だけではなかなか目標を達成できません。1 番目の「ガバナー事務所とガバナーエレクト事務所の合同化と固定化を実現」完全にまだ実現というわけではないのですけれども、必ず年度内に立ち上げて、皆さんにご利用いただける事務所にしていきたいと思っております。2 番目「会員増強 (各クラブ純増 1 名以上、特に女性と 40 歳未満の会員)」大変難しいと思えますが地区として各クラブ純増 1 名以上、41 クラブありますから 41 名以上は是非純増させたい、また女性と 40 歳未満の会員にターゲットを当ててさらに会員増強を図って行きたい、今までこの女性と 40 歳未満の会員というのは非常に少なかったのが掲げているのですけれども、私ある時この話をしたら女性と 40 歳未満の会員以外じゃダメなのですかと言われましたが、決してそういう意味ではございません。3 番目「新クラブの結成」これは同じクラブ内でもなかなか新しい会員を増やすのは難しいのに、新しいクラブなんか作れるわけがないじゃないかという厳しいご意見もございましたけれども、やはり同時にこの新しいクラブという意味は、今まで既存のクラブになかったようなクラブを立ち上げてもいいのではないか、例えば弘前にあります「弘前アップルロータリークラブ」なんかはそういうジャンルに入るのではないかと、大体ロータリークラブというと会社の社長だとかどこかの団体の長でなければ入れないようなイメージがあったと思います。だけど「弘前アップルロータリークラブ」は社長もいますけれども、一般の会社の社員、サラリーマンという方も結構おられます。そういうことも含めまして新しいタイプのクラブができていいと思います。衛星クラブを最初立ち上げてそのあと本クラブへ昇格させていくようなことからまず始めてもいいかなとおもいまして、中グループに一つ南グループに一つ促進、推進しているところでございます。4 番目「新ローターアクトクラブの結成 (1 クラブ)」これも今 5 つのローターアクトクラブがございまして中グループに 1 つ、青森大学を中心としたローターアクトクラブを立ち上げるべく動いているところでございます。5 番目の「公共イメージの向上 (ポリオ撲滅活動はじめ各種広報活動の広報、My Rotary への登録率 35% 以上に向上)」これも再々言っておりますけれどもポリオ初めいろんな奉仕活動についての広報、あるいは My Rotary への登録率を上げることによって認知度を図って行きたい、ポリオ撲滅活動ということは最近と言わない、根絶という言い方に変えておりますので、ここではまだ訂正にはなっておりませんが、ここでもそのように認識していただきたいと思っております。6 番目「ロータリー財団への寄付→1 人当

り年次基金 150 ドル以上、ポリオプラス 30 ドル以上」を皆さんにお願いしております。7 番目「米山記念奨学金寄付→1 人当たり特別寄付 1 万円以上、普通寄付 3 千円以上」をお願いしております。8 番目「アクトの翼の復活（台湾へ）」インターアクトの高校生を従来台湾へ送りましていろいろな経験をしていただいて知見を広げる、物の見方考え方を広げていただくという活動をしていたのですけれども 2 年ほど前から止まっておりますのでこれを再開したいと、地区対地区ではなくクラブ対クラブで動いております。それに地区ができるだけ支援していくという形をとりたいと思っております、実は昨日から十和田東ロータリークラブが中心になりまして台湾の羅東ロータリークラブとの間でこの話を進めております。地区のインターアクトの委員長も一緒に同行しまして現在台湾におりましてこの話を進めているところでございます。できれば私の年度内で是非復活させたいと思っております。9 番目「青少年交換及び RYLA の推進」この南グループは青少年交換を盛んにやっただいて感謝申し上げます、ただ、津軽地区が全然なかったのが津軽地区も、と言っております、今年度の推薦が上がったのは津軽地区だけなので南グループからも推薦を上げていただきたいと思っております。RYLA、これは青少年のリーダー育成のためのセミナーですがこれも青森公立大学を

中心に行いますので、ぜひ皆様の御子弟あるいは従業員の皆さんを派遣していただければ有難いと思っております。最後に「ロータリー賞への取り組み推進(4 クラブ以上)」ということで全体の 10 パーセントほどのクラブが受賞していただくと大変私としては嬉しいし、今後のクラブの活性化に必ずつながると思っておりますので、どうぞ八戸南ロータリークラブさんにおきましては他クラブの見本になるように受賞していただきたいと念願して私の卓話を終わりたいと思っております。

ありがとうございました。

#### 《謝辞》 吉田会長



沼田ガバナー、今日は本当にありがとうございました。今のガバナーのお話をお聞きしてうちのクラブのメンバーも心新たに共に頑張ってもらえると思っておりますので、私が先頭に立って何でもやりますので、沼田ガバナーにいろいろお話しいただいたことを少しでも達成して、達成したことが地域のためであったり、社会のためになるということを感じて、1 年間頑張っております、今日は本当にありがとうございました。